

# 平成24年8月期第2四半期 決算説明資料

平成24年4月20日

株式会社 大庄



DAISYOG CORPORATION

～「日本の台所」になる～

担当部：経営企画室

電話：03-5764-2229

FAX：03-5764-2237

# 24／8月期第2四半期決算の概要

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

連 結		23/8期 第2四半期	構成比	24/8期 第2四半期	構成比	前期比増減	増減率	当初計画 第2四半期	増減率
	売上高	40,556	100.0%	39,114	100.0%	▲1,441	▲3.6%	38,400	1.9%
	営業利益	▲575	▲1.4%	1,014	2.6%	1,590	—	620	63.5%
	経常利益	▲662	▲1.6%	898	2.3%	1,560	—	530	69.4%
	当期純利益	▲1,736	▲4.3%	620	1.6%	2,356	—	210	195.2%

単 体		23/8期 第2四半期	構成比	24/8期 第2四半期	構成比	前期比増減	増減率	当初計画 第2四半期	増減率
	売上高	32,928	100.0%	35,011	100.0%	2,082	6.3%	34,600	1.2%
	営業利益	▲602	▲1.8%	980	2.8%	1,582	—	550	78.2%
	経常利益	▲645	▲2.0%	878	2.5%	1,524	—	460	90.9%
	当期純利益	▲1,622	▲4.9%	765	2.2%	2,388	—	170	350.0%

## (1) 店舗リストラ策による収益の大幅改善

- ・ 不採算店舗について、前期に閉鎖95店舗及び改装59店舗、今期に閉鎖10店舗で実施
  - 収益改善効果として + 675 百万円の実績

## (2) 子会社合併及び組織改編による経営効率化

- ・ 9/1付で (株)イズ・プランニング、(株)壽司岩 を吸収合併
  - 予算管理の徹底等を中心にした間接部門コストの削減効果として + 412 百万円の実績

## (3) 既存店対策の強化

- ・ 店舗オペレーション力改善を中心にした様々な施策が奏功し、計画以上に売上アップ
  - 計画101.6%に対し、実績104.8%

## (4) コストコントロール策の成果

### ① 売上原価の低減策

→ 酒・飲料を中心とした仕入原価の低減、並びにメニュー戦略効果により  
店舗段階の原価率が ▲0.3%低下

### ② 「店舗家賃減額交渉」による成果

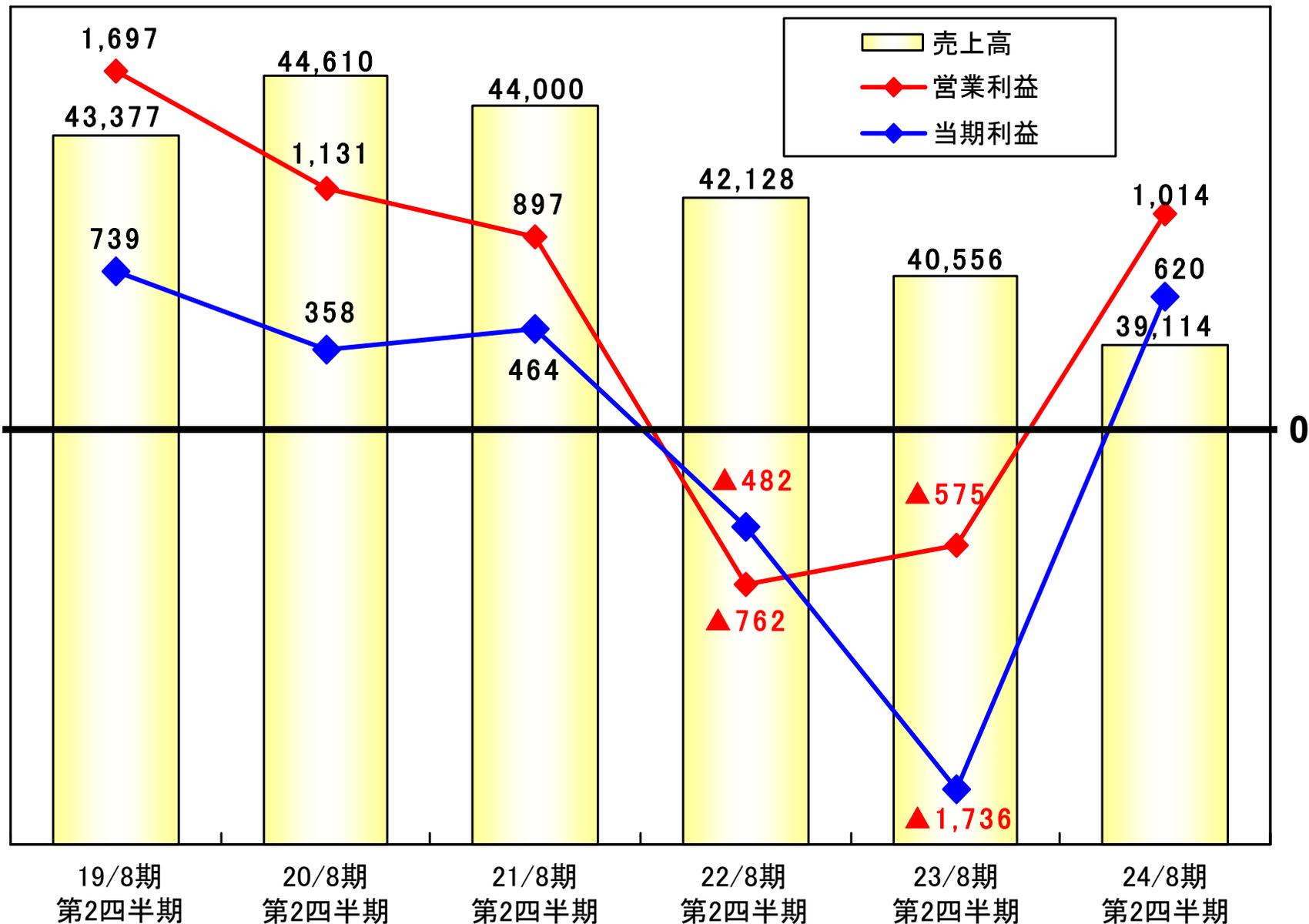
→ 既存店ベースで、前期比 ▲120百万円 の減額実績

### ③ 「販促・広宣費」の効率的使用

→ 既存店ベースで、前期比 ▲125百万円 の減額実績

# 第2四半期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移

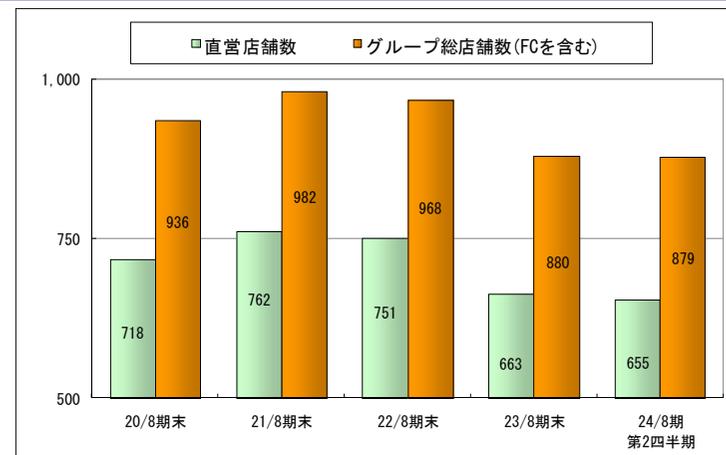
(単位:百万円)



# 1. 新規出店・改装店実績

	24/8期 第2四半期
新規出店	2
店舗改装	14
閉店	10

うち、大庄水産への業態変更4店舗  
大福水産への業態変更4店舗



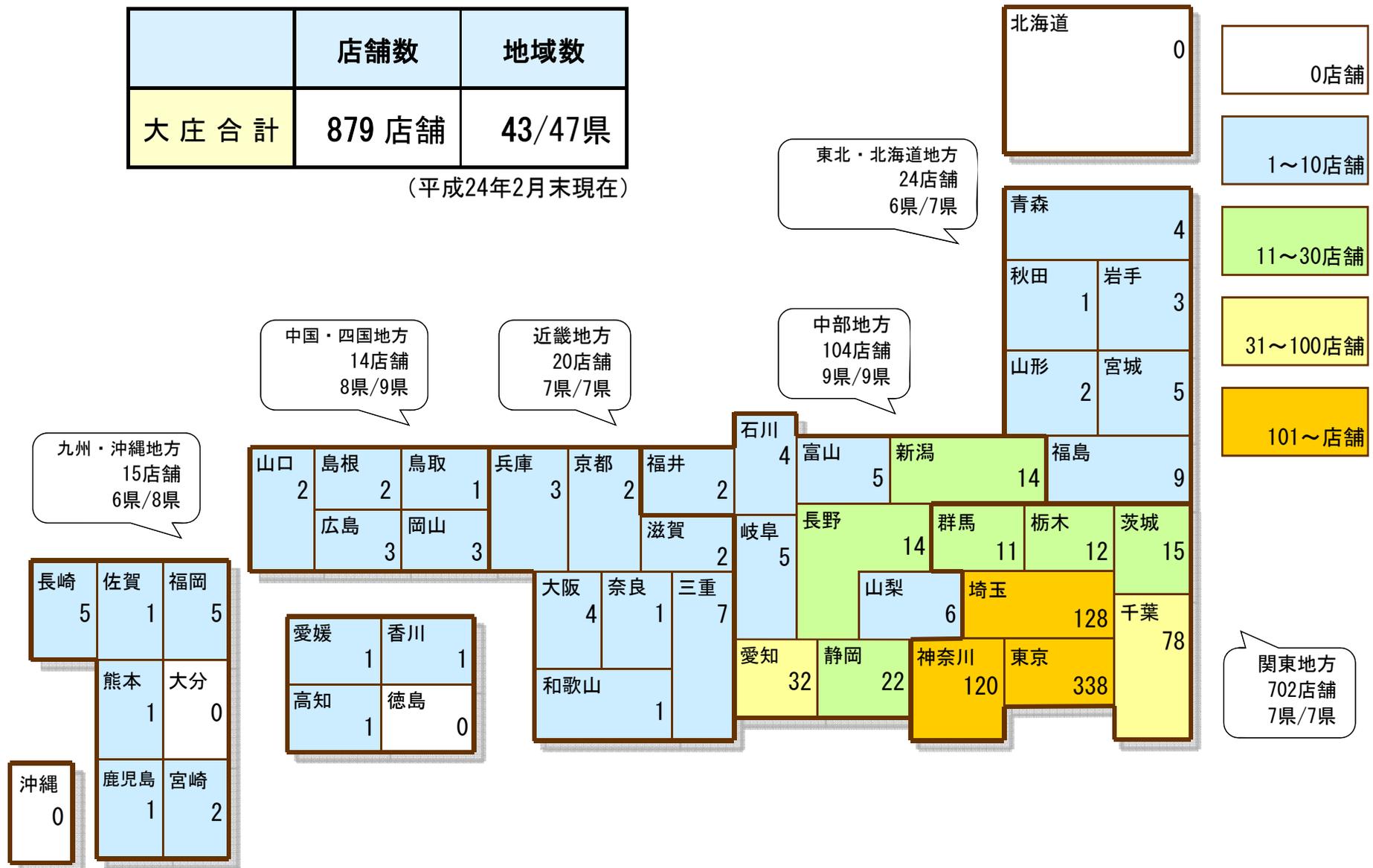
## 業態別明細

	23/8期	新規出店 (うち、譲受)	改装 (うち、業態変更)	閉店 (うち、譲渡)	増減	24/8期 第2四半期	
庄や	228			(▲3)	▲3 (▲1)	222	
日本海庄や	117			▲2	▲2	115	
うたうんだ村	74				0	74	
やるき茶屋	67		2 (2)	(▲1)	1	68	
築地日本海	26				0	26	
築地寿司岩	23			▲1	▲1	22	
塩梅	19		3 (3)		3	22	
中の濱	9				0	9	
大庄水産	5		4 (4)		4	9	
大福水産	5		4 (4)		4	9	
呑兵衛	9	1		(▲2)	▲1	8	
浜の母や	7			(▲1)	▲1	6	
949	7			(▲1)	▲1	6	
榮太郎	7			(▲1)	▲1 (▲1)	5	
その他	60	1	1 (1)	(▲5)	▲3 (▲1)	54	
大庄合計	663	2	0	14 (14)	▲10 (▲3)	▲8	655

# 2. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
大庄合計	879 店舗	43/47県

(平成24年2月末現在)

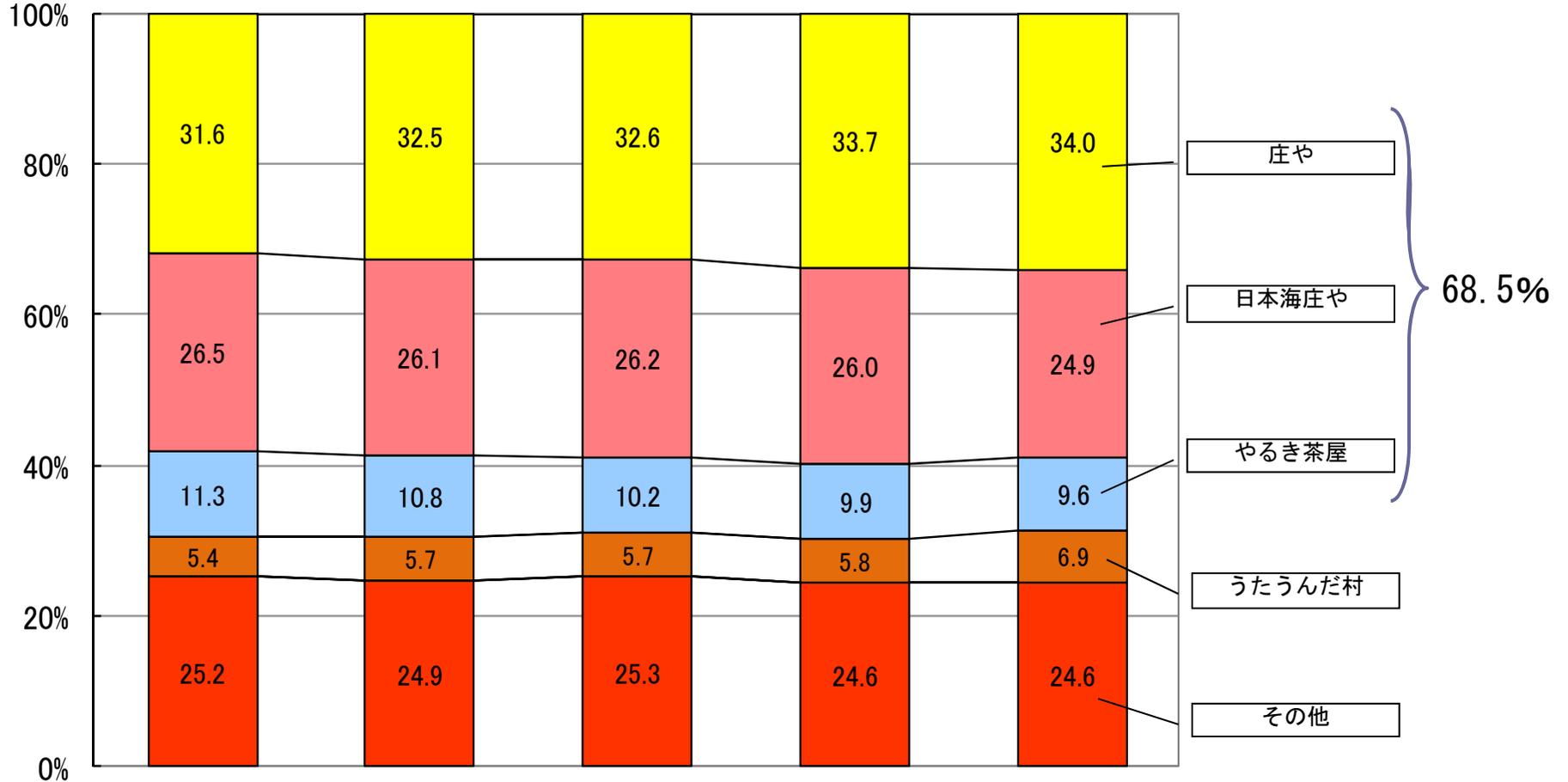


# 3. 売上高

## (1) 業態別・店舗売上高構成の推移

【構成比】

(単位：%)



店舗売上高 (百万円)	20/8期 第2四半期	21/8期 第2四半期	22/8期 第2四半期	23/8期 第2四半期	24/8期 第2四半期
	38,508	38,165	36,387	34,704	33,151

➤ 主要3業態で店舗売上高の約7割を占める

### 3. 売上高

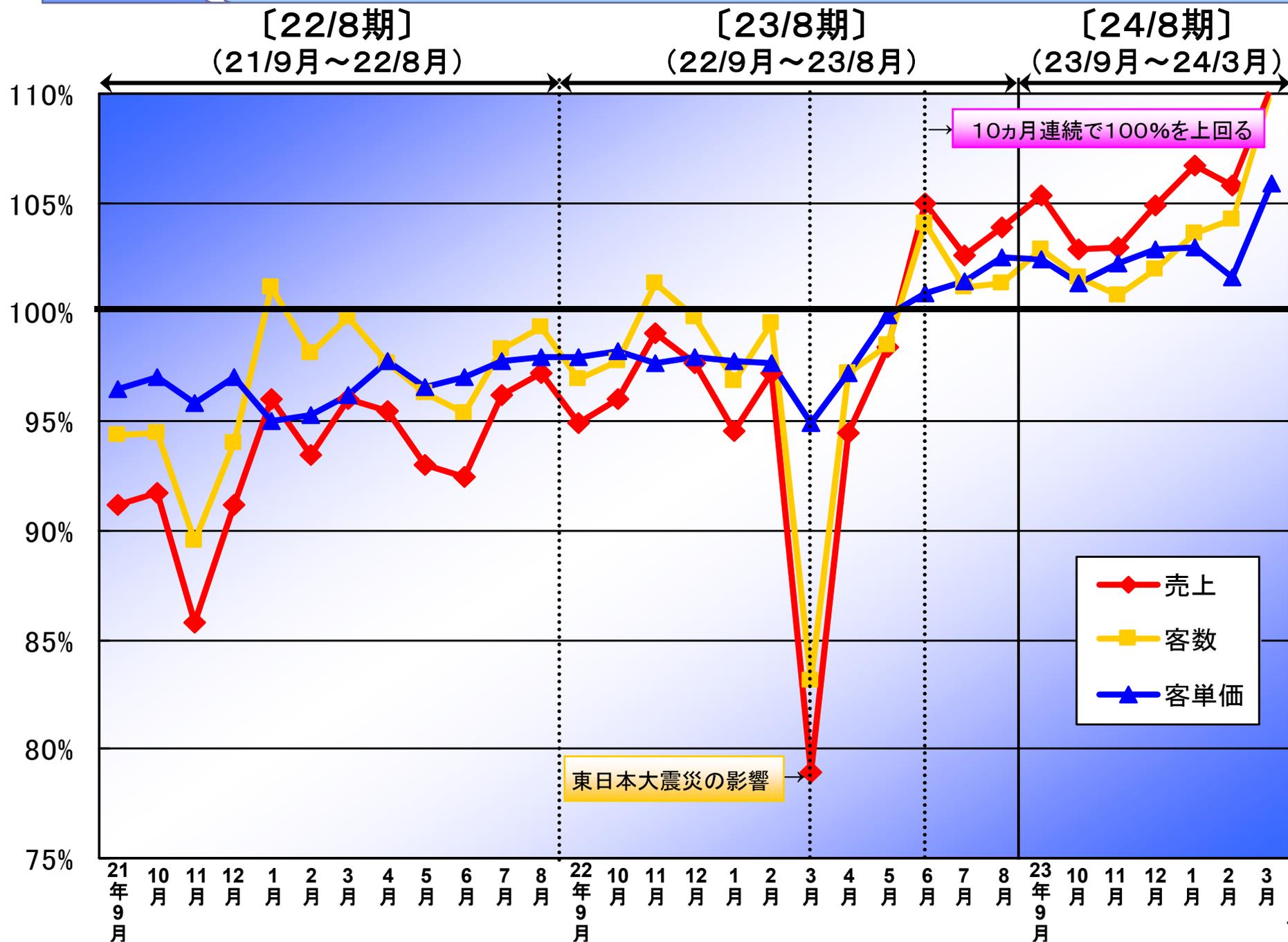
#### (2) 既存店売上高 (対前年比)

	22/8期	23/8期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	24/2期 累計	3月
売上高	93.3%	96.6%	105.3%	102.9%	103.0%	104.9%	106.7%	105.8%	104.8%	131.0%
客数	96.5%	98.0%	102.9%	101.6%	100.8%	102.0%	103.6%	104.2%	102.4%	123.7%
客単価	96.6%	98.6%	102.4%	101.3%	102.2%	102.9%	103.0%	101.6%	102.3%	105.9%

#### <売上増加の要因>

- ① 営業施策の強化などが奏功し「客数」が毎月増加した
- ② メニュー改訂などの効果により「客単価」も着実にアップした
- ③ 売上高の内訳として「昼」115.3%、「夜」103.5%、「宴会」110.1%
- ④ 「昼」の売上構成比が 11.1% → 12.2% と +1.1%上昇  
→ 「昼」営業の実施店舗数比率は全体の63%と着実に高まっている  
→ 「昼宴会」「昼飲み」需要の増加・・・主に高齢者や主婦層（ママ会）
- ⑤ 「宴会」の売上構成比が 14.3% → 15.0% と +0.7%上昇

(3) 既存店売上高・客数・客単価の対前年比月別推移



# 4. 連結営業利益の内訳

【単位：百万円】

	平成23年8月期 第2四半期実績		平成24年8月期 第2四半期実績		増減額		備考
		構成比		構成比		比率差	
売上高	40,556	100.0%	39,114	100.0%	▲1,441	—	
売上原価	14,408	35.5%	13,825	35.3%	▲582	▲0.2%	
売上総利益	26,147	64.5%	25,289	64.7%	▲858	+0.2%	
人件費	14,074	34.7%	13,206	33.8%	▲867	▲0.9%	
地代家賃	4,469	11.0%	3,920	10.0%	▲549	▲1.0%	
水道光熱費	2,018	5.0%	1,895	4.8%	▲123	▲0.2%	
減価償却費	1,600	3.9%	1,255	3.2%	▲345	▲0.7%	
販促・広宣費	1,226	3.0%	952	2.4%	▲273	▲0.6%	
消耗備品費	655	1.6%	633	1.6%	▲22	+0.0%	
衛生費	592	1.5%	544	1.4%	▲47	▲0.1%	
その他	2,084	5.1%	1,865	4.8%	▲219	▲0.3%	
販売費及び一般管理費	26,723	65.9%	24,274	62.1%	▲2,449	▲3.8%	
営業利益	▲575	▲1.4%	1,014	2.6%	1,590	+4.0%	

# 5. 連結経常利益・当期純利益の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成23年8月期 第2四半期実績		平成24年8月期 第2四半期実績		増減額		備考
		構成比		構成比		比率差	
売上高	40,556	100.0%	39,114	100.0%	▲1,441	—	
売上原価	14,408	35.5%	13,825	35.3%	▲582	▲0.2%	
販売費及び一般管理費	26,723	65.9%	24,274	62.1%	▲2,449	▲3.8%	
営業利益	▲575	▲1.4%	1,014	2.6%	1,590	+4.0%	
営業外収益	45	0.1%	52	0.1%	6	+0.0%	
営業外費用	132	0.3%	169	0.4%	36	+0.1%	
経常利益	▲662	▲1.6%	898	2.3%	1,560	+3.9%	
特別利益	126	0.3%	114	0.3%	▲12	▲0.0%	
特別損失	1,400	3.5%	317	0.8%	▲1,082	▲2.7%	
税引前当期純利益	▲1,936	▲4.8%	694	1.8%	2,630	+6.6%	
法人税等	166	0.4%	150	0.4%	▲15	▲0.0%	
法人税等調整額	▲374	▲0.9%	▲62	▲0.2%	312	+0.7%	
少数株主損益	8	0.0%	▲13	▲0.0%	▲21	▲0.0%	
当期純利益	▲1,736	▲4.3%	620	1.6%	2,356	+5.9%	

## 6. 連結特別損失の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

項 目	23/8期 第2四半期	24/8期 第2四半期	増 減	備 考
減損損失	490	202	▲288	
固定資産除却損	183	72	▲111	
店舗関係整理損	27	38	10	
固定資産売却損	0	4	3	
資産除去債務関連	697	—	▲697	
特 別 損 失	1,400	317	▲1,082	

# 7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	23/8期	24/8期 第2四半期	増減額
流動資産	12,860	14,482	1,621
現預金	8,472	10,444	1,971
売掛金	2,218	2,235	17
棚卸資産	661	666	5
繰延税金資産	567	438	▲129
その他	940	697	▲243
固定資産	39,208	37,302	▲1,906
有形固定資産	22,821	21,544	▲1,277
無形固定資産	1,105	1,122	16
敷金・保証金	13,257	12,416	▲840
その他	2,024	2,218	194
資産合計	52,069	51,785	▲284
	23/8期	24/8期 第2四半期	増減額(率)
有利子負債	14,263	14,200	▲63
現預金	8,472	10,444	1,971
NET有利子負債	5,791	3,756	▲2,035
自己資本比率	48.0%	50.4%	+2.4%
有利子負債依存度	27.4%	27.4%	+0.0%

	23/8期	24/8期 第2四半期	増減額
負債合計	26,924	25,539	▲1,384
買掛金	2,345	2,053	▲292
未払金	3,049	2,543	▲506
借入金(長短)	10,341	9,705	▲635
社債	3,922	4,495	572
リース債務	2,152	1,882	▲270
資産除去債務(長短)	1,348	1,179	▲168
その他	3,763	3,680	▲83
純資産合計	25,145	26,245	1,099
株主資本	25,370	26,476	1,105
資本金	8,626	8,626	—
資本剰余金	9,908	9,908	—
利益剰余金	8,141	8,543	402
自己株式	▲1,304	▲602	702
その他の包括利益累計額	▲390	▲380	9
少数株主持分	164	150	▲14
負債・純資産合計	52,069	51,785	▲284

※ 自己株式

24/2月 アサヒビール(株)に対し、600千株を第三者割当て譲渡

# 8. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

	平成23年8月期 第2四半期	平成24年8月期 第2四半期	増減額
<b>1. 営業活動CF</b>	1,095	1,793	697
税引前利益	▲1,936	694	2,630
減価償却費	1,592	1,305	▲287
法人税等	▲171	▲159	12
その他営業CF	1,610	▲47	▲1,658
<b>2. 投資活動CF</b>	▲2,333	38	2,371
有形固定資産の取得	▲2,506	▲503	2,002
敷金・保証金の返還収入	269	745	475
その他投資CF	▲96	▲203	▲106
※ フリーキャッシュ・フロー	(▲1,238)	(1,831)	(3,069)
<b>3. 財務活動CF</b>	1,721	140	▲1,580
短期借入金の純増減額	▲810	20	830
長期借入金の純増減額	116	▲655	▲772
社債の純増減額	▲17	563	581
(有利子負債の増減額)	(▲710)	(▲72)	(638)
自己株式の取得及び処分による収支	2,860	605	▲2,254
その他財務CF	▲427	▲392	35
<b>4. 現金及び現金同等物の増減額</b>	483	1,971	1,488

【単位：百万円】

# 9. 関係会社の状況

## ➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	24/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の 卸売業	東京都 中央区	90	2,394	100.0%	・築地市場での買参権を保有 ・外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都 品川区	99	2,623	100.0%	・グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネス プロデュース	不動産賃貸管理 煙草・飲料販売	東京都 中央区	60	306	75.0%	・ソーシャルビルの転貸業務が柱 ・グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
(株)アルス	病院・事業用 給食施設の運営	東京都 大田区	80	1,030	63.0%	・柱である病院給食事業の収益基盤が確立 ・「アルスケータリングシステム」による弁当事業を拡大
新潟県佐渡 海洋深層水(株)	飲料水等の 製造・販売	新潟県 佐渡市	96	99	100.0%	・海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造

## ➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	24/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
(株)エム・アイ・ プランニング	酒・飲料等の 配送業	東京都 葛飾区	10	139	20.0%	・当社並びにFC店舗に酒・飲料等を配送



# 今後の経営計画及び具体的施策 について

# 24／8月期 公表計画(連結ベース)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

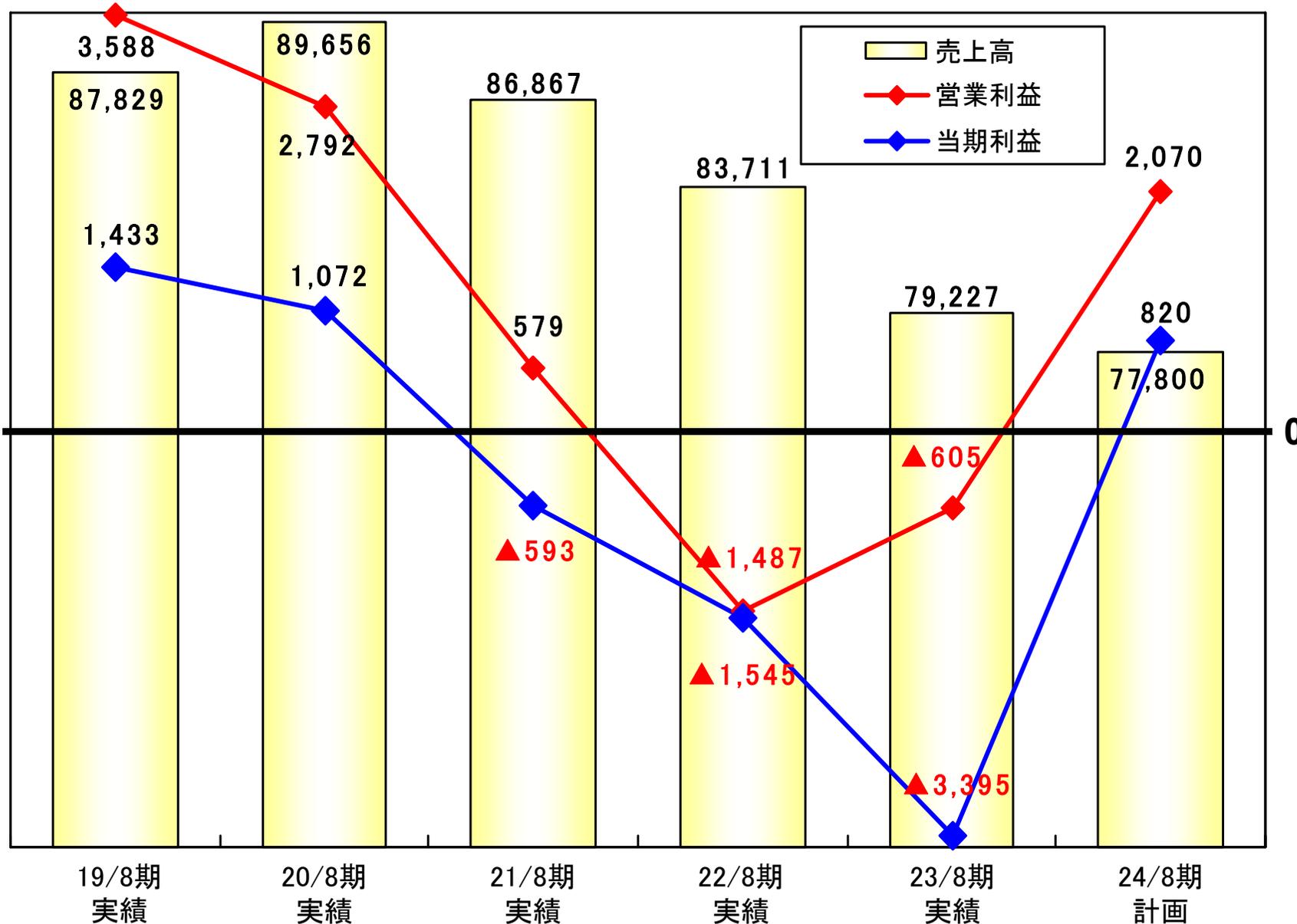
	23/上期 実績	24/上期 実績	増減	23/下期 実績	24/下期 計画	増減	23/8期 実績	24/8期 計画	増減
売上高	40,556	39,114	▲1,441	38,670	38,686	16	79,227	77,800	▲1,427
営業利益	▲575	1,014	1,590	▲29	1,056	1,085	▲605	2,070	2,675
経常利益	▲662	898	1,560	▲152	932	1,084	▲814	1,830	2,644
当期純利益	▲1,736	620	2,356	▲1,659	200	1,859	▲3,395	820	4,215

※ 24／下期の既存店売上は、対前年比104.4%の計画

→ 24/3月 128.0%、4月 101.6%、5～8月 100.0%で策定

# 通期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移

(単位:百万円)



# 24 / 8 月期 出店計画

## (1) 新規出店

		24/上期 実績	24/下期 計画	24/8期 通期計画
連	結	2 店舗	5 店舗	7 店舗

札幌、帯広、前橋に出店予定  
(北海道に初めて出店)

## (2) 改装店舗

		24/上期 実績	24/下期 計画	24/8期 通期計画
連	結	14 店舗	6 店舗	20 店舗

## (3) 閉店

		24/上期 実績	24/下期 計画	24/8期 通期計画
連	結	10 店舗	5 店舗	15 店舗

# 1. 収益構造改善策の継続

## (1) 前期実施のリストラ効果の補完

- ① 引き続き、「業績不振店対策」と業態転換を含めた「店舗改装」を推進
- ② 「既存店対策」の継続強化 ～ 店舗オペレーション力向上による更なる売上アップ
- ③ 部門別経費予算管理の徹底

## (2) コストコントロール策の更なる徹底

- ① 「売上原価」の低減策
- ② 「店舗家賃減額交渉」の継続実施
- ③ 「販促・広宣費」の他、各種経費の効率的な使用

### (1) 営業組織の再見直し

#### ① 昨年刷新した、新しい店舗組織体制を更に見直し

→ きめ細かな管理フォローが可能な管理スパン体制の実現を図る

#### ② 「SV」の増員

→ 店舗チェック指導体制を更に強化し、店舗現場オペレーション力の強化を図る

#### ③ 目標管理の徹底

#### ④ ワークスケジュール管理の強化

→ 各店舗の状況に応じた最適人員体制の確立

### (2) 教育研修システムの充実及び営業人事制度の見直し ～「人心の一新」

#### ① 階層別研修の充実

#### ② 人事制度に連動した研修システム

→ 「学ぶ研修」から「能力を確認する研修」に移行 ～ OJTの重視

→ 職能資格制度との連動及び昇格基準の明確化

#### ③ PAの戦力化 ～組織としての「店力」の強化

→ PAの集合研修の他、PAと社員の一体活性化

#### ④ 専門調理実技研修

→ 専門的な調理実技カリキュラムの強化

# 3. 営業戦略の強化

- (1) 「昼(ランチ)」売上の強化
- (2) 「宴会」売上の強化
- (3) 新しい販促手段による営業強化
- (4) 「旬・鮮度・産地」にこだわった「おすすめ食材」の使用強化
- (5) 店舗イベント・キャンペーン企画の充実

## 4. MD (マーチャндаイジング) 戦略の強化 DAISYO CORP.

(1) 仕入業者の絞込み並びに主要食材の一括購入による原価低減

(2) 生産者との直接取引の強化

(3) 「大庄水産」系の店舗網を拡大中

(4) 食材の安全性確保

→ 「食品衛生研究所」と「総合科学新潟研究所」

→ 当社独自基準である「大庄基準」を「放射能汚染の安全確認」を加えて改定し、  
更なる食材の安全確保への取組みを強化する

～ 「放射能汚染の安全確認」「トレーサビリティ管理」

「体を守る添加物排除」「栽培や飼育の履歴管理」の徹底

→ 「放射能検査」については基準に基づき日々チェック

→ 国産米の継続使用 ～ 安心安全トレース・品質管理と食味を優先